

# 地元の魅力を取材、発信

## 伊東商高と 浜松湖北高 アプリ通じ成果発表

浜松市の総合エネルギー会社「エネジン」の協力で、地元産業の情報発信などに取り組み伊東商高と浜松湖北高は26日、ビデオ会議アプリを通じて飲食店や観光施設を取材した成果を発表した。



ビデオ会議アプリを通じて飲食店や観光施設を取材した成果を発表した生徒＝伊東商高

伊東商高は観光ビジネスを学ぶ3年生34人が飲食店や観光施設を取材し、エネジンのブログなどで発信してきた。グーグルマップを利用して店舗の取材内容を閲覧できるデジタルマップも作成した。発表に臨んだ代表生徒5人は、市内の高齢化率が高まり活気が失われつつある現状を課題に挙げた上で、「魅力的な観光地や飲食店がたくさんあると分かった。自分たちがもっと地域を知り、発信することが伊東のファンを増やすことにつながる」と締めくくった。

浜松湖北高の生徒は

19人が4組に分かれて地元企業などを取材した内容を発表した。

(伊東支局・山本一喜)